

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年2月4日

商工中金

人の交流を呼び込み、地域の事業者を支える日本有数のスノーリゾート 志賀高原リゾート開発株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（長野支店）は、志賀高原リゾート開発株式会社様（本社：長野県下高井郡山ノ内町、代表者：春原 高志様）に対し、新型コロナウイルス感染症の影響に対応する運転資金5億円を期間20年期限一括償還型の資本性劣後ローンで融資しました。

同社は、日本有数のスノーリゾート志賀高原スキー場の主要エリアを運営しています。同スキー場は、上信越高原国立公園内に位置し、雄大で美しい自然景観のもと、長野オリンピックの舞台になるなど、日本のスキー場の中でも最大級の規模と良好な雪質で知られています。

同社は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、営業時間の短縮や一部施設の休館などを強いられました。こうした中、利用者や従業員の健康と安全確保を最優先に「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定、徹底した感染予防対策のもとで施設の運営に努めています。また、近年の温暖化やスノーレジャー人口の減少への備えとして、人工降雪機の増設やゴンドラの新設など、リゾート内施設の拡充にも積極的に取り組んでいます。

商工中金は、経営者との対話や他のスキーリゾートとの比較等、綿密な事業性評価を Value up レポート（※）にまとめ、事業計画の検証やブラッシュアップを行いました。その中で、志賀高原全体の活性化を考える同社の取組みや事業活動が、地域の事業者や経済にとって極めて重要と判断。取引金融機関と認識を共有し、資本の増強効果がある期間20年期限一括償還型の資本性劣後ローンを提供し、同社の財務基盤拡充と金融取引体制の強化をサポートしました。

（※）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまの「SDGs(持続可能な開発目標)」に貢献する取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【志賀高原リゾート開発株式会社様の概要】

所在地	長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 7149 番地
代表者	春原 高志様
資本金	1億円
従業員数	50人（2021年1月現在）※冬期200人
設立	1959年11月
業種	スキー場、スキーリフト（索道）運営



【志賀高原スキー場】